

はばたき

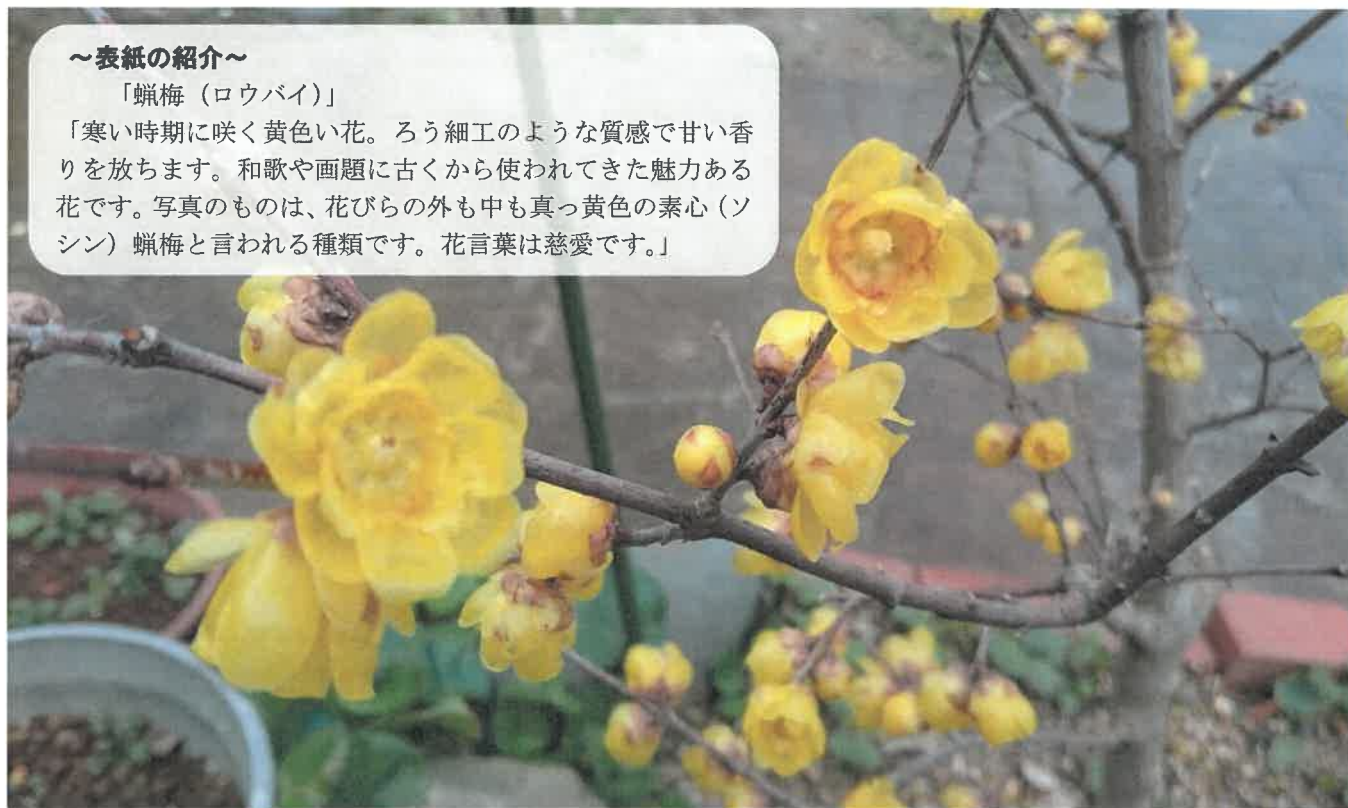
【理念】

「地域に密着した医療を提供し、
安心して暮らせるまちづくりに貢献します。」

～表紙の紹介～

「蠟梅（ロウバイ）」

「寒い時期に咲く黄色い花。ろう細工のような質感で甘い香りを放ちます。和歌や画題に古くから使われてきた魅力ある花です。写真のものは、花びらの外も中も真っ黄色の素心（ソシン）蠟梅と言われる種類です。花言葉は慈愛です。」



- ＜目次＞
- ・開放病床をご存じですか？（P2）
 - ・看護フェアのご案内・院内ボランティア募集（P3）
 - ・当院委員会活動のご紹介～安全安心な医療の提供をめざして～（P4）
 - ・職員からのお話～当院職員がリレー形式でお伝えします～（P5）



編集・発行／河北中央病院 広報アピール委員会
〒929-0323 石川県河北郡津幡町字津幡口 51 番地 2
E-mail : hospital@town.tsubata.lg.jp

発行月／平成 31 年 3 月
TEL 076-289-2117（代） FAX 076-289-5462
ホームページ : <http://kahoku-hp.jp/>

「開放病床」をご存じですか？

●「開放病床」ってなあに？

河北中央病院では、平成30年8月から開放病床（20床）を開設しています。「開放病床」とは、かかりつけの医師と当院の医師が共同して患者さまの治療を行える病床のことをいいます。



●メリットは？

開放病床のメリットは、地域の先生方と連携して患者さまの治療を行うことで、患者さまの安心と信頼のある医療の提供が可能となることにあります。また、当院の医療資源（入院設備）を地域の医療機関と共同で有効活用することで、地域全体の医療の質を高めることにつながります。

開放病床を行うため、河北中央病院近隣の44医療機関52名のかかりつけの先生方に登録医となっていただきました。

また、平成30年8月から平成31年1月10日までの間に、かかりつけの先生には、当院へ月6～7回程度診察にお越しいただいています。



●患者さまの様子は？

入院後の患者さまは、発熱や痛みなどの苦痛を伴い、自分の病気が治るのか不安を抱え表情が暗くなる方もいらっしゃいます。そこにかかりつけの医師が診察のために訪室されると「まあ！先生がここに！」と驚きの表情と共に、満面の笑みがこぼれます。

診察の終わりには、「退院したらまた先生のところ行くしよろしくね」「おー待っとるぞ」そんなやりとりが聞かれ、患者さまには安心した様子が伺えます。

日頃信頼関係のあるかかりつけの医師から自分の病状や治療の説明を受けることで、入院中の不安が、納得と安心に代わっていると思われました。

また、患者さまの心身の状態や特徴をよくご存じであるかかりつけの医師と当院の医師が連携することで、患者さまのご負担が少なく、継続した医療の提供が可能となります。



●開放病床を利用するには？

開放病床のご利用は、かかりつけの医師が当院の登録医であれば可能です。かかりつけの医師が、患者さまの状態に応じて入院が必要と判断された場合に、当院へご紹介いただき、受診、入院という流れになります。（患者さまの状態や病床の空き状況に応じて、入院の相談が必要な場合もあります。）

開放病床利用の希望がある方は、かかりつけの医師とご相談のうえ、河北中央病院へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

医療サービス室

看護の週間イベント

看護フェア 開催

ナイチンゲールの生誕日にちなみ、5月12日に「看護の日」が制定されました。各病院で、様々なイベントが企画されています。

当院も今年度、看護フェアを開催します！

この機会に、地域の皆さまに当院を知っていただける機会となればうれしいです！

日時：5月15日（水）・16日（木）

13：00～16：00

会場：河北中央病院



15日予定：ハンドマッサージ・血糖測定・腰痛体操・筋肉量測定

16日予定：ハンドマッサージ・胸骨圧迫とAEDの使い方・オムツ教室・癒しの音楽会♪

院内ボランティア活動

いつもありがとうございます。
ございます。

●院内ボランティアさんの活動

「はじめて来たけど受付はどこかしら」「再診用受付機の使い方がわからない」などと、病院の中ではいろいろ戸惑うことがあります。

そんな時の「ちょっと手を貸してもらえたら」をお手伝いしていただいているのが、院内ボランティアさんです。

当院では、院内ボランティアさんに病院職員と協力し、患者さま、ご家族が安心して受診できる環境づくりに取り組んでいただいています。いつもありがとうございます。

ありがとう



●院内ボランティアさん 募集しています！

活動内容は、病院正面付近で、新患受付のお手伝いや再来のご案内、車いすや台車が必要な方々へのお手伝い、エレベーターのご案内などです。

ボランティア活動に興味をお持ちの方、またこの機会に活動を開始したいと思われる方はぜひご連絡ください。

活動曜日	月曜日～金曜日
時間	午前8時30分～午前11時 ※曜日・時間は要相談
募集対象者	・心身ともに健康な方 ・患者さんのプライバシーなど、守秘義務を守れる方
問合せ先	河北中央病院 事務課 電話 289-3123

当院 委員会活動のご紹介

～安全安心な医療の提供をめざして～

* 医療安全管理対策委員会の活動

皆さん、日本に医療安全元年があることをご存じですか。

このネーミングのきっかけとなったのは平成 11 年の横浜市患者取り違え事故、広尾病院消毒薬誤注入事故です。これ以降、医療事故が国民に大きく報道されてきました。その医療安全元年から 20 年が経った今、若い医療職者の中にはこれらの医療事故を知らない方もいるのが現状です。

そこで、過去の医療事故からの学びを大切に、当院では医療安全への意識を高められるよう継続して学習しています。また、患者さまの安全を最優先に考え、安全で安心な医療を提供するための業務改善に日々取り組んでいます。

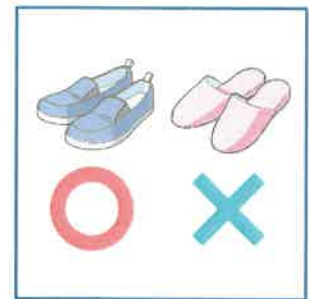


当院の医療安全管理対策委員会は、医療安全管理者、各部署のリスクマネージャー、事務職員の計 17 名で構成されています。月 1 回の委員会、週 1 回のカンファレンス、事例検討会を開催しています。主な活動は現場から報告されたインシデント（誤った医療行為などが患者さまに実施される前に発見されたもの、あるいは、誤った医療行為などが実施されたが結果として患者さまに影響を及ぼすに至らなかったもの）内容の検討、マニュアルの見直し、業務手順の周知です。

当院の特徴は、高齢者が多く、インシデントでは転倒・転落に関わる内容が圧倒的に多いです。

そこで、患者さまお一人ひとりにあった療養環境の整備に取り組んでいます。

転倒転落予防対策の一つとして、入院される患者さまには、踵のある靴の使用をお願いしています。



また、患者確認のため診察、採血、心電図等、全ての場所でお名前と生年月日を確認しています。ご理解とご協力をお願いします。

お名前と生年月日を確認しています。ご協力をお願いします！

診察時

点滴の時

検査の時

手術の時

処方箋やお薬を渡す時



今後も医療安全を患者さまと共に醸成していきたいと思っております。

医療安全管理対策委員会 事務局

職員からのお話

当院の職員がリレー形式でお伝えします

定年退職を迎えて



放射線部 澤本一二

時の流れは早いもので、本年3月末をもちまして60歳の定年退職を迎えることとなります。

金沢大学医療技術短期大学部を卒業後すぐに、昭和56年(1981年)4月から当院に勤務し、38年間の長きにわたり大過なく務めることができましたのは、ひとえに患者様、職員の皆様のご支援とご協力のお陰だと感謝しております。

当院に就職したのは、現在の本館が建設される前で、その当時には木造の伝染病棟がありましたし、赤ちゃんの産声が聞こえる産婦人科が設置されていました。

現在の管理棟を診療棟として使用しており、1階には受付や待合ロビー、薬局、各科の診察室などがあり、2・3階は一般病棟として使われていました。

平成4年に改築されて現在の病院になったのですが、その当時を知る職員は今では本当に少数になってしまいました。とても懐かしく思い出されます。

4月からは新たに再任用というかたちで、引き続き放射線業務にあたらせていただきたいと思いますので、これまで同様よろしくお願いたします。



そうそう！
昔は、河北中央病院に
産婦人科もあったわ。
なつかしいわ～

在職4年間の心に残るエピソード



事務長 田縁 義信

ちょうど4年前の町職員の人事異動により河北中央病院事務課に配置換えとなり、赴任し、3月末をもって定年退職を迎えますが、心に残る患者様とのエピソードを一つ。

医療に関する仕事は初めてであったため、医師、看護師、各種技師との輪の中に入っていくのに時間がかかり、戸惑い落ち込んでいた頃のことでした。

初夏の頃、ある年老いた男性入院患者が外で杖をつきながらちょっとふらついている場面に遭遇していた時の出来事です。「おじいちゃん、大丈夫かいね」と声をかけると、「あんた、病院の方か？ わしゃこの間、救急車で運ばれて来たんや、三回目やし、今度こそは寝たきりになって死んでしもうと思とった。ほんでも～ここの看護師さんやリハビリの職員さんやみんなのおかげで、これ、見てみた、ここまで歩けるようになった。」と、杖を放り出して、私に歩いて見せてくれました。「退院したら、知り合いや在所のものに、河北中央病院なほんとに親身になってわしの面倒を見てくれた、ほんとうによくなったんやと言うたるわいね。あんやと、あんやと」と私の手を握り、笑みを浮かべて話してくれました。今でもそのおじいちゃんの一言が忘れられませんし、その後の私の仕事の励みにも繋がったと思っています。

当院は、病気の重い人を治す病院というより病気で困っている人を支える病院として、地域医療(地域住民のニーズにこたえる医療)を提供し続けることにより、町民からなくてはならない病院として認められると思います。

今後とも、河北中央病院をよろしくお願いたします。4年間ありがとうございました。



受付・診療案内

平成31年4月～

《受付時間》

午前 8:30～11:30 (再診受付機は8:00から受付できます)
午後 1:00～4:30

《診療時間》

午前 8:45～12:00 (婦人科は9:30～11:30)
午後 2:00～5:00 (眼科は1:30～5:00)

《休診日》

土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)

4月から診療体制が変更になります

平成31年4月から診療体制が変更になります。
患者さま、ご家族の皆さま、地域の皆さまには、ご不便とご迷惑をおかけしますが、
ご理解とご協力をお願いします。

		月	火	水	木	金	
内科	午前	1診	寺崎 修一 (再診・健診)	寺崎 修一 (再診・健診)	寺崎 修一 (再診・健診)	寺崎 修一 (再診・健診)	越野 瑛久 (再診)
		2診	—	越野 瑛久 (再診)	丹保 裕一 (呼吸器)	石田 晃介 (再診)	白田 圭佑 (循環器)
		3診	清水 美保 (初診)	石田 晃介 (初診)	越野 瑛久 (初診)	越野 瑛久 (初診)	石田 晃介 (初診)
		6診	原田 ゆかり	原田 ゆかり	原田 ゆかり	原田 ゆかり	原田 ゆかり (健診)
		7診	—	石田 千穂 (脳神経内科)	—	—	杉下 康裕 得能 翔太 (糖尿病)
	午後	診察	寺崎 修一	石田 晃介	越野 瑛久	原田 ゆかり	越野 瑛久
外科	午後	—	—	—	—	小坂 健夫	
整形外科	午前	上野 琢郎	上野 琢郎	上野 琢郎	上野 琢郎	濱田 知	
	午後	上野 琢郎	▲手術日	—	▲手術日	—	
眼科	午前	太田 秀俊	太田 秀俊	太田 秀俊	太田 秀俊	太田 秀俊	
	午後	▲手術日	太田 秀俊	太田 秀俊	太田 秀俊	太田 秀俊	
皮膚科	午前	—	—	渡部 絢子	—	八田 順子	
婦人科	午前	—	笹川 寿之	—	—	—	
乳腺外来	午後	—	—	野口 美樹 (予約制)	—	—	

編集後記

平成30年度は、町内11か所で出前講座を開催させていただきました。
ありがとうございました。平成31年度のご依頼も順次いただいています。
また、地域の皆さまにお会いできることを職員一同楽しみにしています♪